



日本共産党 北区議会議員

# のの山けん区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.777 2026.3.4

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

## “公民連携ありき”で 本当に区民生活は良くなるのか？

日本共産党議員団 企画総務委員会で「公民連携推進条例」制定に反対

1日に開かれた企画総務委員会で、区が今議会に上程している「公民連携推進条例」の制定についての審査が行われました。私は、「公民連携」ありきの行政運営は、必ずしも区民生活に良いことばかりではないとして、条例の制定に反対を表明しました。（のの山けん）

さまざまな行政課題を、民間事業者の力を借りて解決することは有益な結果を生むことがある一方、職員や外部委託職員の賃金が切り下げられ、社会全体で見れば官製ワーキングプアを拡大し、「失われた30年」といわれる賃金の上がらない国をつくる一因となってきた指定管理者制度や、タワマン誘致によって周囲に環境影響を及ぼし、人が住まず店舗もなかなか埋まらない市街地再開発事業など、これまでの北区の「公民連携」には否定的な問題が生まれていることを指摘しました。

条例案の第3条では、「区は、行おうとする事業について、可能な限り公民連携事業として実施する」とありますが、公民連携を条例で一律に「推進」とするのはなく、

さまざまな行政課題を、民間事業者の力を借りて解決することは有益な結果を生むことがある一方、職員や外部委託職員の賃金が切り下げられ、社会全体で見れば官製ワーキングプアを拡大し、「失われた30年」といわれる賃金の上がらない国をつくる一因となってきた指定管理者制度や、タワマン誘致によって周囲に環境影響を及ぼし、人が住まず店舗もなかなか埋まらない市街地再開発事業など、これまでの北区の「公民連携」には否定的な問題が生まれていることを指摘しました。

また、今回の条例制定にあわせて、区は窓口となる「しごと連携課」を「課」から「部」

それが行政課題にとって適切で合理性のあるものなのかどうかを個別に判断することが必要です。

また、今回の条例制定にあわせて、区は窓口となる「しごと連携課」を「課」から「部」

さらに、条例の前文には渋沢栄一氏が唱えた「合本主義」という文言が書き込まれていますが、一つの思想を条文に入れ込むのは適切ではないと指摘しました。

へと格上げする「区長室」の下に置き、区長の権限で強力な公民連携の推進体制をつくらうとしていることにも危惧を表明しました。

### 「公民連携」の名で 推し進められてきたのは

#### 官製ワーキングプアを拡大 指定管理者制度

保育園や区内の全公園に指定管理者制度を導入し、管理・運営を民間事業者へ委託。職員の人件費や委託事業者の賃金が引き下げられてきました。



#### 利益優先の超高層タワマン建設 市街地再開発



ディベロッパーやゼネコンなど大企業が参入し、超高層タワマンションを建設。環境影響や、周囲の家賃を押し上げるなど問題が広がっています。

# 財源は暮らし・営業の応援に

## 企画総務委員会 のの山区議が70億円の特定目的基金積立てを批判

3日に開かれた企画総務委員会で、今年度最終補正で新庁舎に30億円、まちづくり30億円、学校改築に10億円、特定目的基金に70億円も積み立てる山田区政の財政運営を批判しました。

区は、暮らしの支援に活用できる財政調整基金について、今年度の当初予算で約73億円を取り崩して、174億円程度にまで減るとしていましたが、補正の結果、今年度末残額見込みは約249億円と過去最高を更新することとなりました。当初見込みとの乖離は約75億円にものぼります。

現在実施している区民生活支援金は、国の重点支援地方交付金に加え、財調基金も投入

して支給額を引き上げましたが、それでもまだ財調基金は増えており、こうした歳入の伸びは、新年度予算で、さらなる暮らし・営業支援に活用すべきと求めました。

区は、「歳入も伸びているが、歳出や将来の備えも需要が増している」などと、基金の積立てを合理化する答弁に終始しました。

### 会計年度職員の更新制限撤廃

また、党区議団が繰り返し求めてきた会計年度任用職員の公募に よらない再度の任用ができる上限回数（現行4回）は、来年4月より撤廃されることになりました。ただし、65歳以上は毎年公募となります。（のの山けん）

## 名主の滝公園散策

住民団体が現地調査



2月28日、名主の滝公園のみどりを守る会の呼びかけで、名主の滝公園の散策が行われました。神宮外苑再開発への抗議活動を行っているロッシェル・カップさんらも参加し、大量の樹木が伐採されようとしている現場を細かく調査しました。日本共産党区議団も全員が参加しました。（のの山けん）

## 再開発学習交流会

日本共産党北区議員団



1日、北とぴあで、日本共産党北区議員団主催の「再開発学習交流会」が開かれました。高さ190メートル、50階のツインタワー案が示された王子駅周辺まちづくりや、赤羽駅東口での市街地再開発計画について、その問題点を掘り下げ、住民本位のまちづくりへの転換を呼びかけました。（のの山けん）